

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

地域商社と進出企業が連携したクラフトビール製造による地域活性化計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道爾志郡乙部町

### 3 地域再生計画の区域

北海道爾志郡乙部町の全域

### 4 地域再生計画の目標

#### 4-1 地方創生の実現における構造的な課題

乙部町においては、昭和25年のピーク時には9,266人の人口を擁していたが現在は3,905人となり、50%近い人口が失われている。また、基幹産業である第一次産業においては漁業従事者約100人に対して漁業生産額が4億600万円であり、一人当たりの生産額は約400万円、農業においては約180人の農業従事者に対して農業生産額が4億500万円であり、一人あたりの生産額が225万円と、農漁業ともに極めて低い水準で推移している。この基幹産業の低収入化は後継者不足を招き、一次産業がますます高齢化するという悪循環に陥っている。

さらに、北海道新幹線の開業に伴い近隣で一番大きな都市である函館市などには多くの観光客が訪れているが、鉄道も高速道路も無い我が町においては、その恩恵に与かる事ができていない現状となっていることから、これらの課題解決に向けた取り組みを進めることが急務となっている。

#### 4-2 地方創生として目指す将来像

乙部町は海と山からなる自然豊かな町であり、町内を南北に走る海岸線には凝灰岩や安山岩、柱状節理など、多様な地層を間近に見ることができる風光明媚な町であるが、一方で、地理的条件から鉄道網や高速道路網が整備されていない北海道でも特異な地域であることから過疎化が進み、これからの町の存続が危惧されている。

我が町を活性化するには、新たな産業の創出や基幹産業である一次産業の付加価値向上、それに伴う雇用の場の創出をはじめ、地理的不利を克服し、交流人口の増大を図ることが地域経済を好循環させる方法であることから、それに必要な施設整備を施すことにより、一次産業者の収入の安定化を図るとともに、地域資源を活かした新たな交流人口を増大させる仕組みを構築することが重要である。

そのためには、役場主導ではなく、H28年10月に設立した地域商社を活用し、本町に進出していただいた民間企業と連携しながら、民間企業の発想により新たな町づくりを進めていきたいと考えている。

#### 【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
クラフトビールを目的とした観光入込客数	0人	0人	300人	300人
クラフトビールの年間売上高	0万円	0万円	300万円	400万円

	平成32年度 増加分 (4年目)	平成33年度 増加分 (5年目)	KPI増加分の 累計
クラフトビールを目的とした観光入込客数	200人	200人	1,000人
クラフトビールの年間売上高	200万円	200万円	1,100万円

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

乙部町に進出したミネラルウォーター工場と地域商社が連携し、乙部町の天然ミネラルウォーターと地場農産物を使用したクラフトビール製造を行うことにより、地域産業の活性化を図る。

また、地場産原料によるビール製造を目指すことから、大麦及び町内に自生するホップの試験栽培を行い、地域の一次産業の活性化にも寄与する取り組みとする。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生拠点整備交付金（内閣府）：【A3007】

#### ① 事業主体

北海道爾志郡乙部町

#### ② 事業の名称：乙部町産ミネラルウォーターを活用したクラフトビール製造拠点整備事業

#### ③ 事業の内容

乙部町は小さな町ながら、5箇所の自然湧水がある豊かな水資源を持つ町である。今回、地方創生の事業展開を図る中で、タイミングよく本町にミネラルウォーター製造工場が進出してくれたため、町と乙部ボトラーズ社、地域商社が連携してクラフトビールの製造を行うため、町有施設である空き倉庫をクラフトビール製造工場に改築する。

また、工場内にはビールをその場で飲める小規模なレストラン機能を併設するとともに、ビールとともに提供する軽食メニューにつ

いては、地元の農水産物や地域商社「おとべ創生(株)」で開発した商品を使うことにより、農業収入の安定化や新たな顧客層の誘客につなげ、地域経済が循環する仕組みを構築する。

さらに、ビール作りに必要な大麦やホップの試験栽培及び成分分析等についてはおとべ創生(株)が行うことにより、民間企業同士の連携を図り、民間主導の地域づくりを展開する。

#### ④ 事業が先導的であると認められる理由

##### 【自立性】

クラフトビールは、国内主要メーカーが製造する一般的なビールとは異なり少量生産が可能であるほか、穀物やフルーツなどのフレーバーを加えることにより、少量で多品種のビールを生産することができることから、他社との差別化を図ることが可能。

また、クラフトビール製造候補地は、日帰り入浴施設1棟、温泉宿泊施設2棟、移住体験住宅2棟が隣接している地域であることから、地元住民、観光客、ビジネス利用者など、幅広い層の利用が期待できるとともに、工場には、製造ラインだけではなく、軽飲食ができるスペースも設け、地域商社が開発した商品や地元の農水産物を使ったメニューを提供することにより、ビール販売だけに頼らない収益確保事業を展開する。

さらに、今回の拠点整備交付金を活用することによりイニシャルコストが大幅に削減でき、隣接地には、すでに自社のミネラルウォーター工場が操業していることから、原料調達、人材確保などにおいても優位性を保つことが可能になることなどから、自主・自立した取り組みになるものとする。

##### 【官民協働】

クラフトビールの製造にあたっては、民間企業である命水乙部ポトラーズ(株)が、自社が製造するミネラルウォーターを活用する。乙部町においては、町が出資して設立した地域商社「おとべ創生(株)」と連携し、原料となる大麦やホップなどの栽培について、契約栽培をしてもらえる農家を紹介・斡旋するとともに、クラフトビールの販路開拓については地域商社が既存の取引ルートを活用して行うことにより、官民一体となった取り組みとなる。

なお、地域商社「おとべ創生(株)」は、平成28年10月に商工会、民間企業、町、観光協会の共同出資により設立した会社である。

### 【政策間連携】

本事業が軌道に乗れば、地場産原料によるビール製造が可能となることから、農業者の安定収入化、後継者対策、クラフトビールに着目した新たな顧客層の誘客など、複数の政策が連動した取り組みとなる。

○地場産原料によるビール製造

農業振興策（農家の安定収入化、後継者対策）

○クラフトビールによる新たな顧客誘致

観光振興策

### 【地域間連携】

北海道桧山地域は、乙部町を含む7町（乙部町、奥尻町、厚沢部町、上ノ国町、江差町、今金町、せたな町）から構成されている地域であるが、北海道の14地域（十勝やオホーツクなど）の中では、人口が一番少ない地域であり、過疎化が顕著となっている（桧山地域7町で人口約4万人）。一方、7町すべてに温泉施設があることから、単町ではなく、地域の各町が連携して、すでに拠点が整備されている奥尻町のワイナリー、厚沢部町の芋焼酎製造工場に新たに乙部町のクラフトビールを加え、各町の「お酒－温泉－日本海の食材」を組み合わせた新たな旅行商品の提案を図ることが可能となる。

## ⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

### 【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
クラフトビールを目的とした観光入込客数	0人	0人	300人	300人
クラフトビールの年間売上高	0千円	0千円	300万円	400万円

	平成32年度 増加分 (4年目)	平成33年度 増加分 (5年目)	KPI増加分の 累計
クラフトビールを目的とした観光入込客数	200人	200人	1,000人
クラフトビールの年間売上高	200万円	200万円	1,100万円

## ⑥ 評価の方法、時期及び体制

### 【検証方法】

地方版総合戦略の策定にあたり設置した「おとべ町総合戦略検討委員会」において、数値目標や達成度、効果などを検証し、PDCAサイクルを実践する。また、町のHPへの掲載も行う。

### 【外部組織の参画者】

①道南うみ街信用金庫 乙部支店長 ②農業者代表、③漁業者代表  
④乙部町商工会 理事、⑤教育関係者、⑥女性団体代表 ⑦住民代表（自治会連合会会長）

## ⑦ 交付対象事業に要する経費

・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 51,000千円

## ⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成34年3月31日（5ヵ年度）

## 5-3 その他の事業

### 5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

### 5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

## 6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成34年3月31日

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

### 7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

#### 【検証方法】

地方版総合戦略の策定にあたり設置した「おとべ町総合戦略検討委員会」において、数値目標や達成度、効果などを検証し、P D C Aサイクルを実践する。また、町のHPへの掲載も行う。

#### 【外部組織の参画者】

- ①道南うみ街信用金庫 乙部支店長 ②農業者代表、③漁業者代表、④乙部町商工会 理事、⑤教育関係者、⑥女性団体代表 ⑦住民代表（自治会連合会会長）

### 7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

#### 【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
クラフトビールを目的とした観光入込客数	0人	0人	300人	300人
クラフトビールの年間売上高	0万円	0万円	300万円	400万円

	平成32年度 増加分 (4年目)	平成33年度 増加分 (5年目)	KPI増加分の 累計
クラフトビ ールを目的 とした観光 入込客数	200人	200人	1,000人
クラフトビ ールの年間 売上高	200万円	200万円	1,100万円

### 7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

地域再生計画の目標及び重要業績評価指標（KPI）については、ともに、毎年度、乙部町役場総務課が3月時点での達成状況を確認、取りまとめの上、町のホームページで公表を行う。